

## 平成 23 年度第 1 回 Mnet 放送番組審議会 議事録概要

1. 開催日時 平成 23 年 7 月 21 日(木) 11 時～13 時
2. 開催場所 CJ Media Japan 会議室
3. 出席者  
(Mnet 放送番組審議会委員) ■出席者(4 名) : 宮崎 則一委員長、宇佐美 彰彦委員、河本 直美委員、堀米 紫委員  
■欠席者(3 名) : 小安 輝子委員、鄭 義信委員、林 英樹委員 (委員は五十音順)  
(放送事業者側出席者) ■常務取締役 E&M 日本事業総括 カン・サンドン  
編成チーム長 チョ・ジョンホ、制作チーム長 洪淵哲、  
マーケティングチーム長 ペ・ムンヒ、マーケティングチーム宣伝広報担当マネージャー 佐藤圭之介、編成チーム編成担当・事務局 蓮見治栄
4. 議題
  - (1) 報告事項
    1. CJ Media Japan 事業内容
    2. 2011 年度下半期編成方針
  - (2) Mnet Japan 制作番組視聴と審議講評  
現在放送中の自社制作番組「SUPER STAR K 3 Japan Round #3」をご視聴頂き講評して頂いた。
  - (3) 視聴者意見報告
  - (4) 次回開催予定報告 12 月 8 日(木) 予定

## 5. 議事の概要

### <番組の審議>

・初めて観たので、最初の先入観としては韓国語で歌わなければならないのかと思っていた。初めて観る人にはエントリーの資格というものがもう少し出てくると馴染み易いと思う。参加者がオーディション内容を知らせる構成ではなく、インフォメーションとしてみると見やすい。実力のある人をどれだけ集められるかが大事。本当に日本で実力のある人を抜擢するという作業の工夫をするべき。

・Mnet として純粋に歌手を選ぶオーディションはありだと思う。さまざまな人が出場することでテレビとして面白くなる。楽しくバラエティを見ている感覚。楽しくないとテレビとして見てもらえないので、とても良かった。

優勝したらどうなっていくかという告知を入れると真剣さがプラスされて良いと思う。

・番組自体も面白くて CS 放送だけで放送するのは勿体ないほど。もっと宣伝してオーディ

ション自体を知ってもらえたら、もっと実力のある人が集まると思う。

・過去の SUPER STAR K 本選を見ているので、この Japan Round のバラエティ色を否定するわけではないが本気で歌で勝負している人も大勢いると思うので、一次予選とはいえ少々ふざけている印象を持った。本気で歌で挑戦している人も大勢いるので、私としては本物路線で行ってほしい。

・一次予選は楽しくやっても良いと思う。それが二次まで行ってしまうとちょっと。告知に次長課長の河本準一さんのように人気のあるコメディアンを起用するのは良い。

・誰でも有名になりたいという気持ちはあり、一緒にオーディションを受けているような気分になったり、気に入った出演者ができたら一緒に育てるような気分になると思う。有名な韓国芸能人が出ていなくても、気に入った出演者を応援したりしながら楽しんで見ることができると思う。

・番組の間で放送しているミニ番組で出場者の自宅を訪問していたように、出場者の人物像が見えてくると感情移入ができたり、応援する人ができて、視聴料と関係なしに楽しめるので良い。

・Mnet 視聴者は音楽好きな人が多く M countdown が見られれば良いというような人も多いが、プラスアルファとしてこういう面白い番組がどんどん出てくればそれはそれで良い。